WTO ルールから見たユーラシア経済連合の現状と課題

岩田伸人　　（青山学院大学）

報告要旨

□EAEU(ユーラシア経済連合)は、ロシアを中心とするソ連邦時代を経た旧 CIS メンバーの国々から構成されている。ソ連崩壊の後、一部の CIS 諸国を除く大半の国々が WTO の正式メンバーとなったため、それら CIS 諸国も WTO 体制という共通した貿易ルールの下にある。

その一方、WTO ドーハラウンドは実質的に停止状態にある。TPP や TTIP に関わる一部の国々を除けば、WTO の理念をさらに精緻化する動きに同調する国々は、最早多くはないと推察される。

つまり、国際貿易は現状を見る限り、第一は WTO の理念追求型の日米欧と関連諸国のグループ、第二は、（WTO の基本原則は遵守しながらも）WTO を国際貿易のミニマムスタンダードと捉えて、貿易ルールを WTO の理念とは異なる尺度で制度下しながら、自国の国益(または自国が主導する集団の利益)を優先するグループ、の二つに大別されると推察される。

本稿で取り上げた EAEU は後者の典型とみられる。（本稿では扱わなかったが、これら二つのグループの両方に所属することによって、自国の国際貿易におけるプレゼンスを高めようとする国々が存在する。その典型がアジアでは ASEAN、特に一国としてはベトナムである。TPP と EAEU の両方に参加するベトナムは、第一グループと第二グループの両方に所属する国である。）

元来、GATT/WTO のメンバー国は市場経済化をグローバルに拡充することを一応の共通理念として来た。よって、貿易歪曲的な政策・措置を排除することが GATT/WTO ルール上は正しいと認識されてきた。だが昨今、国々は国際貿易の拡充によりも、国内経済(または域内加盟国)の政治経済的な利益を優先する傾向に変わりつつある。

EAEU の世界経済に占めるシェアは小さいが、EAEU の政治的な影響力は、それ以上に大きいと見られる。メガ FTA と言う場合に、世界経済に占める域内諸国の GDP シェアで計測することが一般的だが、EAEU のような地域統合もまた、世界経済に大きなインパクトを与えるという意味で(TPP や TTIP とは違い意味で)メガ FTA と呼びうる。

□□
□□

Eurasian Economic Union in terms of WTO regime

Nobuto IWATA (Aoyama Gakuin University)

Abstract

The EAEU (Eurasian Economic Union) has been composed of countries, which are a member of CI S or Commonwealth of independent states supported by Russia throughout the days of Soviet Union.

After the collapse of Soviet Union, the CIS countries except some ones have become a member of WTO, World Trade Organization. Nowadays the common trade rules of these CIS countries have been under the WTO regime.

On the other hand, the WTO Doha Round has been pending substantially. Therefore developing countries of WTO might not follow the advanced movement by developed countries, which have been progressing toward an advanced idea of WTO.

In terms of current international trade, it seems that there are two groups of WTO members. The first is a group with developed countries such as the U.S. European Union and Japan. The second is a group with developing countries who are seeking their own national interest by using both WTO consistent measures and non-WTO related measures.

The EAEU seems to be a typical trade integration for the second group above. □□□□